公開実用 昭和49- 84688





夹用 新 架 登 景 順

昭和 计年 二月 三日

特許庁長官 嚴

1. 考案の名称

デンゲン 電源プラグ

2. 考案 者

イズミン からい ペンチ 鹿児島県出水市武本12699番塩 カブンマニンボンデンヤ 鹿児島日本電気株式会社内 コペヤガリマナ ウ 小平川 正 樹

- 4. 代 惠 人

Ŧ152

東京都日県区柿ノ木坂三丁日1番3号 電話 東京414局8414 (第6761号)弁理士 内田 佑二二二二

1 1 1 mm

17 12895 (47.13.10) (47.13.10) (47.13.10)

1.考案の名称

2.実用新菜登録請求の籍間

電視プラグ化かいて、電ボコンセント化弁入す る金属端子1.1′と電影コードの電影2.2′との。5 接続部を保護し、潜駐操作時の保持部Aを形成す るゴム、ブラスティック等の悪操体の形状を保持部 Aから、電源コード 2,2 K 沿つて、一段難くした 後、再び大きくし、善取機の揺口部より大きい部 手 分目をもつようにしてなる電源プラグ。

3. 考案の評組な説明

との考案は、家庭用電気機器や工業用電気機器 化使用する電源プラダの構造に関するものである。 従来、電気機器の故障のうちで最も多いものの 1つに覚察コードの断線がある。電源コードは、 15 第1回に示すように、電源コンセントに作入する 一対の金貨増子1,1'と2本の電報2,2 が接続 されていて、接続部がゴム、ブラステイツタ等の 絶縁体で保護されて、ブラクの着脱操作時の保持

10

公開実用 昭和49- 84688

部4が形成されている。また、電線の被機部3は、 形成されている場合と省略されている場合がある。 断線が発生する原因は、第1に、競操作のとき にブラグの保持部4を保持するために生じる場合 3ある。第2を保持するために生じる場合 かある。第2に、最近の電気機器に普及しはじめ たコードの自動巻取り機では、巻終り時点でブラ グの保持部4の、矢印で示す部分が、自動巻取り 様の巻取口に毎次するために、金銭端子1、1'と 電影2,2'の間に優力としての衝撃力が作用する にため、巻取回数を重ねるにつれて、断線に到る場 合が多くなる。

この考案の目的は、これらの欠点を除いた電源 ラードボブラクを提供することにある。

4年時間

以下本考案を果る図化ついて説明する。

15

本考案は第2間に示すととく、電報プラグにかいて、電源コンセントに挿入する金属端子 1, 1'と電源コードの電線 2, 2'との接続派を保護し、登脱機作時の保持部Aを形成するゴム、ブラスチィック等の絶縁体の形状を、保持部Aから電源コ

ード。2, 2'に沿つて、1級網くした後、再び大きくし、券取機照口部より大きい部分目をもつようにした構成である。

.

以上、詳細に説明したが、 A、 B 部の形状、 A, B 部間の細い部分の大きさ並びに扱さは、使用される他操体の材質により患定されるものである。 20

公開実用 昭和49- 84688

すなわち、軟い場合、 A 、 B 部間の細い部分の長さは比較的短かくてよく、大きさは比較的大きくても効果は得られるが、硬い場合は、逆に緩い部分を比較的長くし、細くしなければ同様の効果は、 6 られない。また、 A の部分を硬い材質で形成し、 5 B の部分を軟い材質で形成し、 然る後に、 機械的に組み合せても同様の効果を期待することができる。

したがつて、材質の過定や形状の細部が変更されても、この考案の本質が何ら影響されるもので 10 はないことは明らかである。

以上の如く本考案によれば、電視コードの脱供作や自動巻取り機の者取り操作で、従来のものに比し、断維することが生じにくくなるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、従来の電源プラグを示し、第 2 図は 本考案による電源プラクの一実施例を示す。

図において、 1・1'…… 金具増子、 2・2' ……電 級、 3 …… 後種部、 4 …… 保持部、 A …… 保持部、20

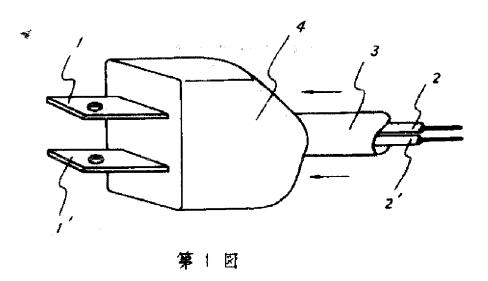
15

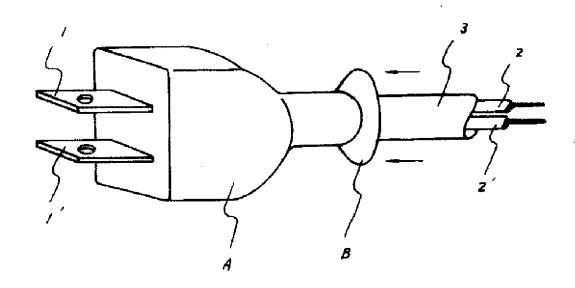
●取機の開口部より大きい部分↔

侑 8 代理人 **弁理士**

公開支用 昭和49—84688

便知灯夜





第 2 図

READER A H & SEE

846**58**

-6-

5. 議院告集の自然

(3) 明報者 1章

(2) 新 新 1 池

(4) 茯 低 秋 1 油(油つて補充する)

(4) 順告資本 1港

が開発したは、日本ので